




太くて硬いの  
すごく気持ち

# 父娘背徳生活

離婚後に大切に育てた一人娘との禁断の愛

## 神山詩音編2



とてもえげつない  
ストーリーになったので  
清涼感のある表紙に  
してみました。  
BY: 作者

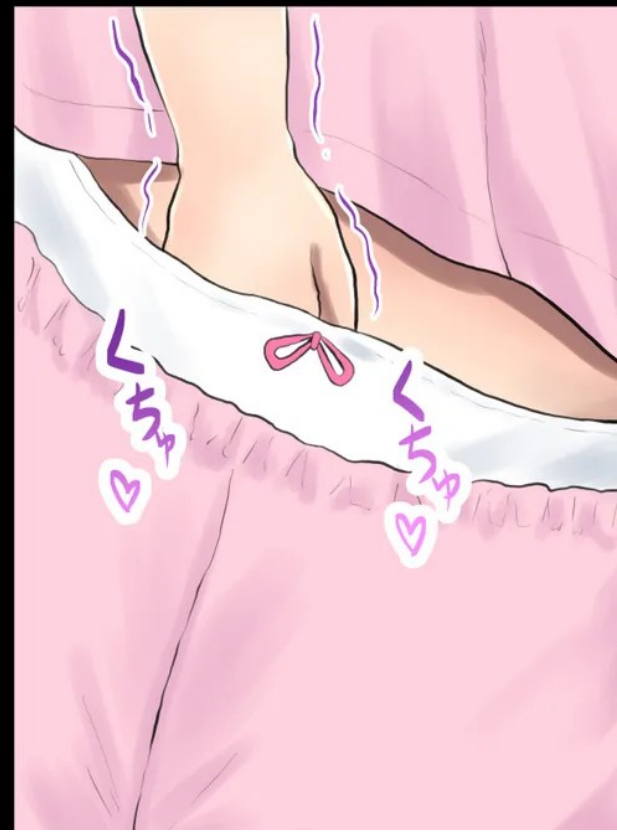
# 神山 詩音

かみやま しおん

B102・W74/B82

幼少の頃親が離婚し  
溺愛している父の元で  
育てられる。根は素直で  
優しい娘…のはず…







詩音からある日  
大量に画像が  
送られてきた…

そこに写されていたのは  
別れた元夫と愛娘が情事に  
ふけっっている様だった…



よくも詩音に手を…

あんた~~~~!!

ガタ



カタカタカタ…

カタ



いらっしやい...  
久しぶりだね!

あつ!  
母さん...



oooo



ちようど今立て込んでる  
所だけど...

はっ  
はっ

あっ  
あっ

まあゆっくり  
くつろいで  
いってね!

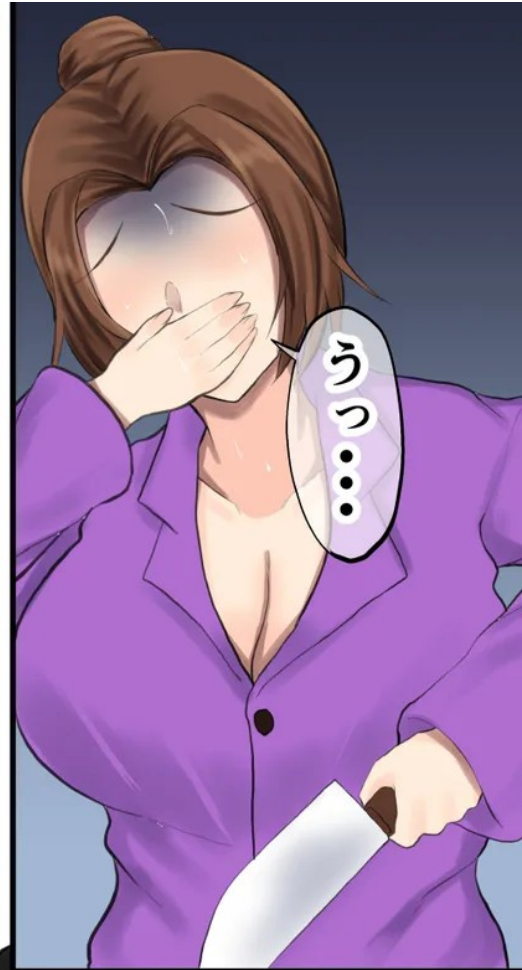
ちゅ

ちゅ



実の親娘が...  
そんな...

嘘でしょ...詩音が  
本当にアイツと  
セックス...



うっ...



しゅっ  
しゅっ  
しゅっ



ん...  
びっ...  
びっ...



父さん! 母さんも来て  
くれたしそろそろ  
ペース上げよっか!

そうだな! 俺たちの新しい  
門出を見せてあげない!

ポルッ

ポルッ

しゅっ

しゅっ



ハアハア……本当に  
詩音の中気持いいよ……



ああ……父さんの  
太くて硬いのが  
すごく気持ちいい……

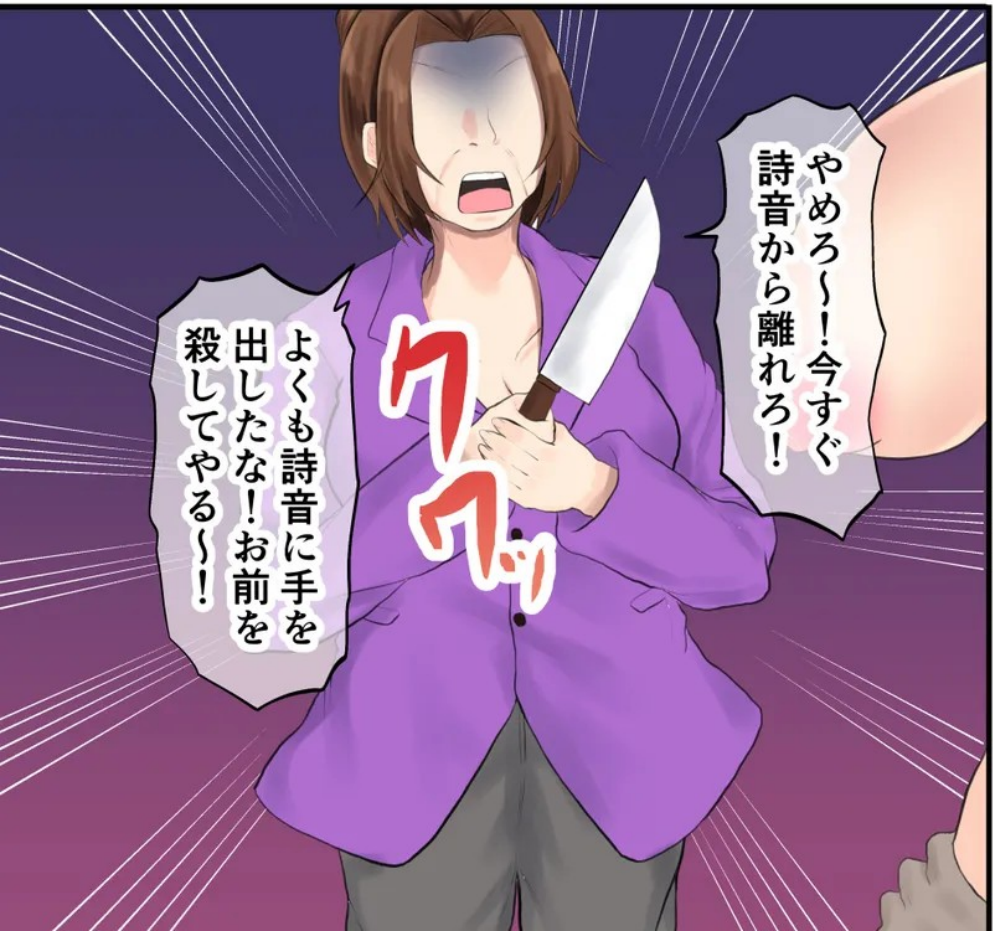
私の子宮の入り口に  
コンコンって叩いて  
くるよ!

あ  
パチ

パチ

やっ♡

ビク♡



よくも詩音に手を  
出したな!お前を  
殺してやる!

やめろ!今すぐ  
詩音から離れろ!

ク  
ク



もう……父さん  
ったら……

キゅん♡



違うよ母さん……  
これは私が選んだ  
恋……

私から父さんに  
抱いてって頼んだ  
んだよ！



父さんが手を……



けど子供の頃見て  
しまったの……アンタと  
父さんの愛の無い  
セックスを……



えっ……あっ……  
どういっ……

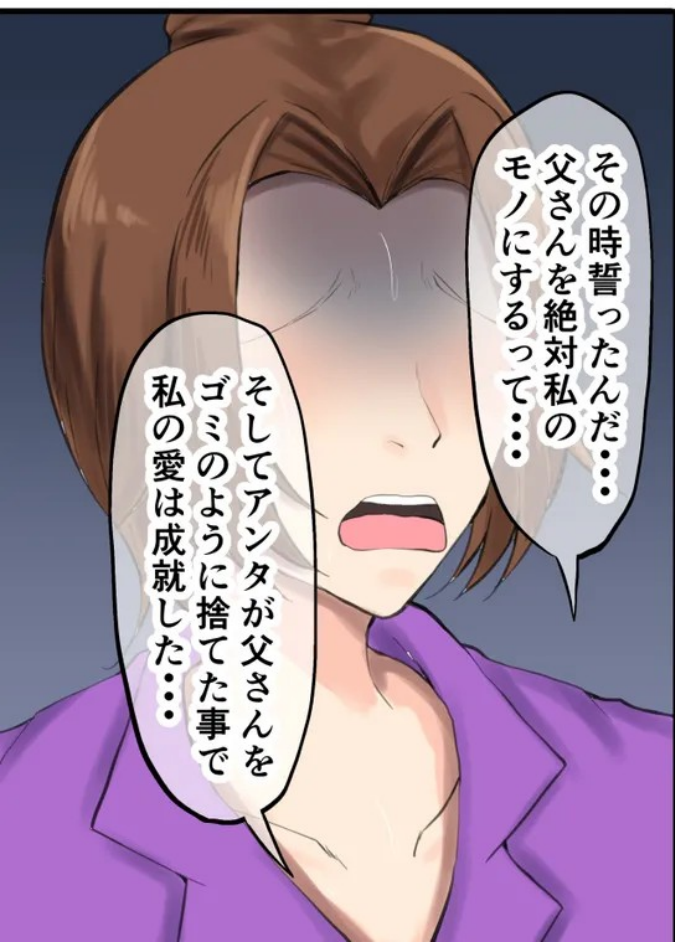
ずっと父さんを  
愛していた……

でもそれがいけない事  
だっていうのは  
わかっていた……



殺してやりたいと思う程  
羨ましかった…父さんの  
愛を一心に受けるアンタが…

その時私は肌を弄って自慰をし  
ながら二人を見ていたの…



その時誓ったんだ…  
父さんを絶対私の  
モノにするって…

そしてアンタが父さんを  
ゴミのように捨てた事で  
私の愛は成就した…



そして今でも覚えてる…  
アンタが父さんとセックス  
してる時の…

感情ひとつ動いて  
なさそうな空虚な  
顔を…



アイツに私との  
愛を見せてあげよ!

ねえアナタ...  
そろそろ再開して!

父さんは私の  
モノだ! 誰にも  
邪魔はさせない...



きゃん♡  
きゃん♡  
きゃん♡

ああああん♡

すっごーぶーおお  
おおおお♡

やめい!



どうっ?!?どうっ?!?  
みてるー?!?

やめる訳ねーだろ!  
そこで指を啜えて  
見てろ!

これが愛してる人との  
本物のセックスだよ!!

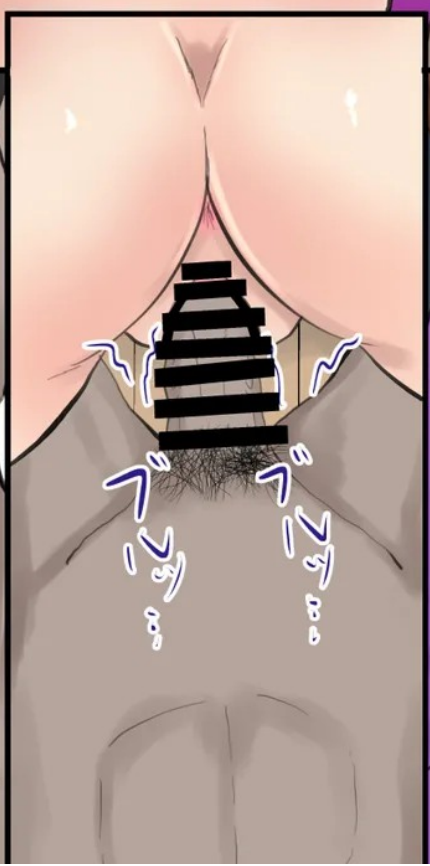
バチ

バチ



詩音...もう  
そろそろ出そうだ...

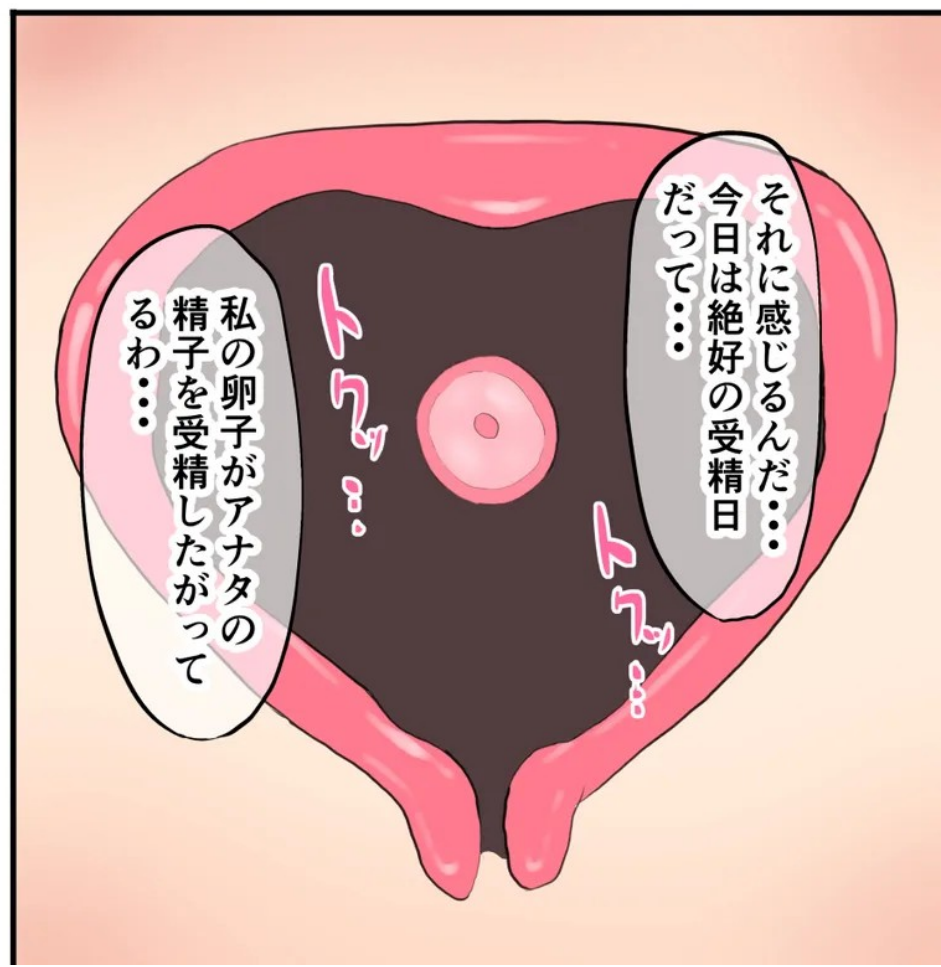
ナカに思いつきり  
出していいかい?



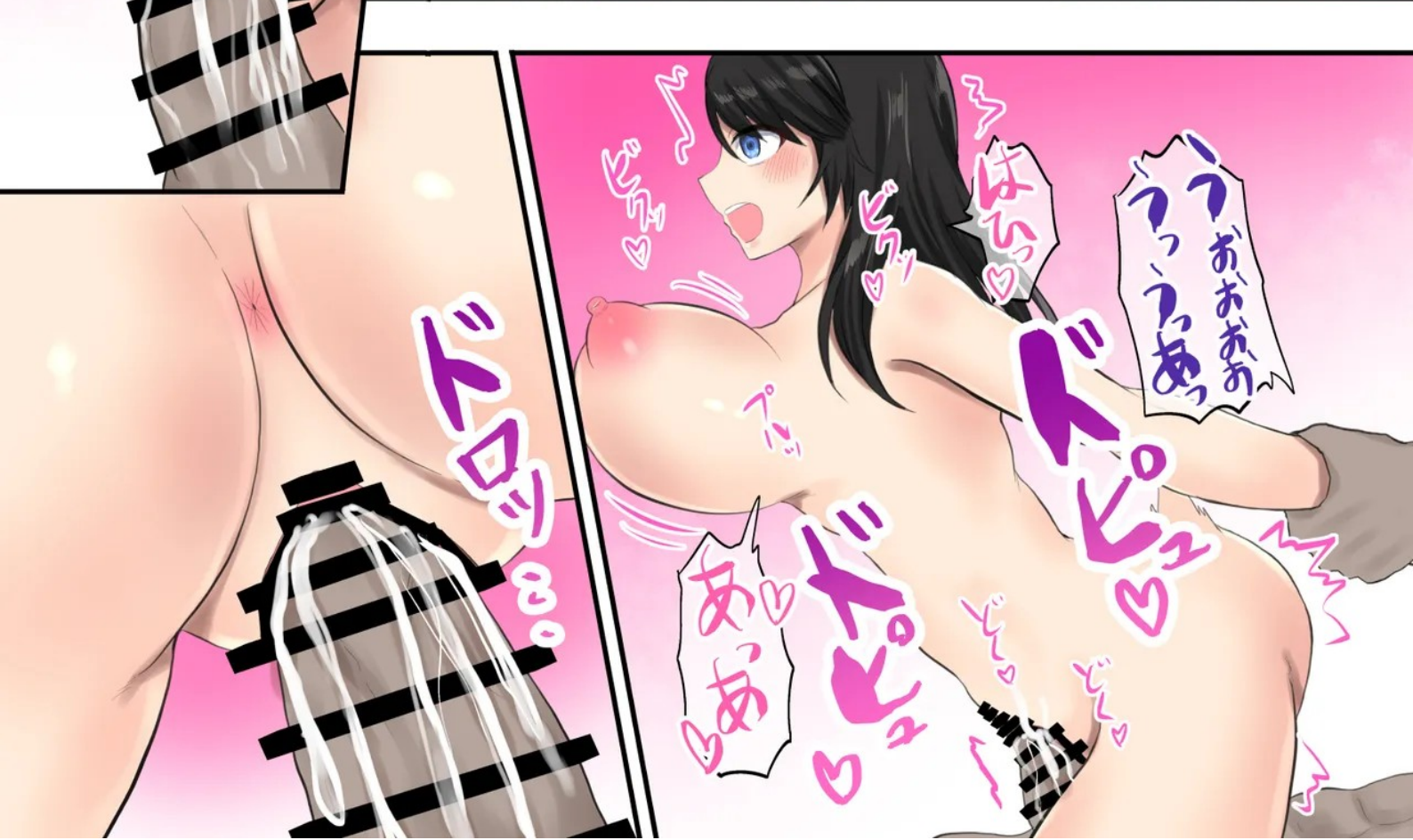
あ...

ボロ...

ああ...









# 後日



あっアナタ!

お前の方は体調大丈夫か?



うふっ……大丈夫だよ……  
この女にも早く私達の  
子供を見せてあげたいね!




もうお腹の子も随分  
大きくなつたろ……



それより久しぶりに  
やらない? あ・な・た!  
寂しいの……

ダメだって……お腹の子に  
負担がかかる……まったく!  
しょうがない奴だな!



今回の話で  
念願の父の  
子供をご懐妊。  
復讐を果たし  
二人で幸せな  
結末を迎える。